

尾道文化

第二十一号 くもくじ

巻頭言

§華道・写真・書

§文化交流

「今治と尾道」を結ぶ文学交流

小説『女紋』と猿飛佐助

第三回文学ルート川柳

第六回しまなみ海道俳句大会

第一回高校生絵のまち尾道四季展について

感想文

§評論

化政期、尾道を訪れた文人たち(三)―防地峠を越えた人たち―

尾道が生んだ巨匠(第四回) 彫刻家矢形勇の二紀会での活動はじまる

短歌の読み方―幾山河越えさり行かば―

〈論考〉32年前の尾道に、教育諸活動の「総合」をめざした「総合体育」があった。

志賀直哉と林芙美子 in 尾道

§随想

詠史川柳(二)

水物語

忘れ得ぬ人々 II ゼールノフ先生とフルムキン先生

ヘーデンの「さまよえる湖」と「トランスヒマラヤ山脈」

人違いの話

研究活動の一体化の問題―教育研究(修)所の頃―

玉蘊さんからの贈り物

天国の門

浦崎の野鳥(杜鵑の雛の本能)

入船 裕二 …… 6

◇ 7

吉村 信男 …… 13

◇ 14

三藤 正行 …… 21

◇ 23

入船 裕二 …… 27

◇ 27

清水 金二 …… 32

◇ 32

小西 眸 …… 37

◇ 37

藤井 壯次 …… 39

◇ 39

清水 英子 …… 47

◇ 47

財間 八郎 …… 53

◇ 53

栗本 秋夫 …… 58

◇ 58

今井ひでを …… 60

◇ 60

吉田 繁 …… 65

◇ 65

信来 民夫 …… 71

◇ 71

青木 博 …… 74

◇ 74

池田 明子 …… 79

◇ 79

中村 英子 …… 81

◇ 81

小山 歩 …… 87

◇ 87

§文芸

・短歌

四五首

九〇首

九五首

ふるさと

二三〇句

一〇句

・現代詩

冬の手紙

秋草の花

白い柵の続く道

ラクダよ歩け―動脈瘤患者を励ます歌―

果樹園ふたたび

着地

淡竹

団地から

・漢詩

遙かなる機影(二)

やっぱりここがええんじや

一日亭主

ふしぎな体験

浦崎短歌会 …… 91

◇ 91

波動・うずしお短歌会 …… 96

◇ 96

世紀短歌会 …… 105

◇ 105

しまなみ俳句会 …… 115

◇ 115

久井 茂 雉 …… 139

◇ 139

吉野 太郎 …… 140

◇ 140

花本 圭司 …… 142

◇ 142

仲尾 修 …… 144

◇ 144

高垣 憲正 …… 148

◇ 148

木村大刀子 …… 150

◇ 150

山口美沙子 …… 152

◇ 152

入船 裕二 …… 154

◇ 154

島 匠介 …… 157

◇ 157

幡地谷 領 …… 158

◇ 158

黒田 歩兵 …… 164

◇ 164

矢嶋 伊作 …… 169

◇ 169

浦崎短歌会 …… 176

◇ 176

世紀短歌会 …… 181

◇ 181

しまなみ俳句会 …… 187

◇ 187

久井 茂 雉 …… 192

◇ 192

吉野 太郎 …… 86

◇ 86

花本 圭司 …… 52

◇ 52

§ 絵画・工芸・彫刻
§ 「文化協会会員受賞・表彰の記録」 「文化協会会員行事の紹介」
「文学関係著書発刊の記録」 「寄贈図書を紹介」
〈編集を終わって〉

・ヘコラム 滯のみち

・中表紙写真について

・表紙装画「第十回絵のまち尾道四季展グランプリ」

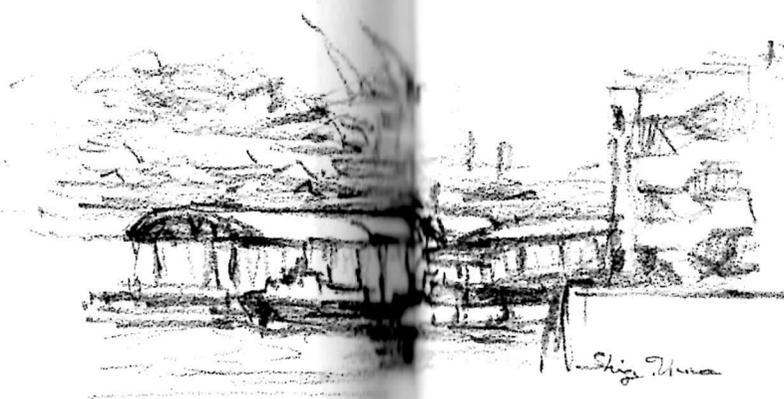
「紫陽花のころ」 定金昌枝 尾道市西土堂町

・題字

・装画・カット

藤原 勝子

上野 重治



巻頭言
S 絵画・工芸・彫刻

尾道市文化協会会長

石田 克彦 ◆◆ 7

鷹羽狩行句碑建立の記

句碑建立委員会事務局長

土屋 年 ◆◆ 11

S 随想

尾道から松江まで ―「中・四国五市文学ルート」の旅―
玉蘊展の思い出
教育の原点を求めろ ―三原附属小時代―
忘れ得ぬ人々 Ⅲ 森有正先生
東方見聞録と涅槃経・本草綱目に見る乳製品
浦崎の野鳥(鳴・舌・舌・モズの声色)
本とのつきあい
エベレスト街道の人
時空の旅
木下夕爾の詩そして照海達哉氏の評論を読んで

入船 裕二 ◆◆ 13
清水 金二 ◆◆ 18
清水 英子 ◆◆ 29
花本 圭司 ◆◆ 34

S 随想

尾道から松江まで ―「中・四国五市文学ルート」の旅―
玉蘊展の思い出
教育の原点を求めろ ―三原附属小時代―
忘れ得ぬ人々 Ⅲ 森有正先生
東方見聞録と涅槃経・本草綱目に見る乳製品
浦崎の野鳥(鳴・舌・舌・モズの声色)
本とのつきあい
エベレスト街道の人
時空の旅
木下夕爾の詩そして照海達哉氏の評論を読んで

池野 誠 ◆◆ 39
池田 明子 ◆◆ 44
青木 博 ◆◆ 49
今井ひでを ◆◆ 54
吉田 繁 ◆◆ 59
小山 歩 ◆◆ 66
信来 民夫 ◆◆ 70
平松 携 ◆◆ 72
中村 英子 ◆◆ 80
山川 旭 ◆◆ 86

S 文芸

俳句
現代詩 分別
イヌの名前
旅のかたとの会話
桃

しまなみ俳句会 ◆◆ 92

藤井 壯次 ◆◆ 117
久井 茂 ◆◆ 118
吉野 太郎 ◆◆ 120
伊尾 修 ◆◆ 124

・ 短歌

走磁性細菌
月のメール
帰る
詩抄
・ 小説
逝きし夏 ―海軍将校の教官は兵曹―
ほんまにまたもどってきてくれるんじやろうか
帽子
塩っぱい話

高垣 憲正 ◆◆ 126
木村大刀子 ◆◆ 128
山口美沙子 ◆◆ 132
西川 修 ◆◆ 136
波動うず潮短歌会 ◆◆ 140
『世紀』短歌会 ◆◆ 150
浦崎短歌会 ◆◆ 158
仲尾 修 ◆◆ 163
島 匠介 ◆◆ 164
幡地谷 領 ◆◆ 170
黒田 歩兵 ◆◆ 176
矢嶋 伊作 ◆◆ 183

S 追悼 財間 八郎先生
弔辞

葬儀委員長

入船 裕二 ◆◆ 188

S 華道・写真・書
S 文化交流

第四回文学ルート川柳
第七回しまなみ海道俳句大会

◆◆ 197
◆◆ 200

S 文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事

・ ヘコラム

・ 中表紙写真について
・ 表紙装画 第一回写真のまち尾道四季展大賞『路地』岡山県 笠岡市
・ 表紙について
・ 題字
・ 装画・カット

入船 裕二 ◆◆ 208
伊藤 稔 ◆◆ 175
伊藤 裕二 ◆◆ 177
藤原 勝子 ◆◆ 199
伊場 義彦 ◆◆ 199



尾道文化

第二十三号 ぐもくじ

巻頭言

尾道市文化協会会長

石田 克彦 ◇ 6

§ 華道・写真・書

§ 評論

私の尾道(その三)
 化政期、尾道を訪れた文人たち(五)
 メモ帳「ある日・あの時」
 尾道古寺めぐりと「神仏習合」管見
 江戸後期の天井絵 Ⅱそこから見えたものⅡ

§ 随想

彫刻界の巨匠 矢形勇さん 膨大な作品群を尾道市に寄贈
 「浮雲」とわたくし
 百年の怨み
 チベットの高山植物 飛燕草と雪蓮
 エベレスト街道の人(続) ヒマラヤへ野菜の種
 子どもにはしたいことがある Ⅰ「らくがき黒板」の子どもたち
 文学の中の尾道(一)
 荏苒抄
 五十代の手習い
 拘農法(一)

§ 文芸

・ 短歌

チエーホフ

「世紀」短歌会 ◇ 86
 浦崎短歌会 ◇ 94
 波動うず潮短歌会 ◇ 99
 仲尾 修 ◇ 108

清水 金二 ◇ 38
 恒石 直和 ◇ 42
 今井ひで ◇ 48
 吉田 繁 ◇ 53
 平松 携 ◇ 59
 青木 博 ◇ 63
 花本 圭司 ◇ 68
 久井 茂 ◇ 73
 中村 英子 ◇ 76
 小山 歩 ◇ 81

中村 禮子 ◇ 11
 入船 裕二 ◇ 16
 藤井 壯次 ◇ 23
 山川 旭 ◇ 26
 島谷 勲 ◇ 32

・ 俳句

・ 現代詩

名字駢蕩
 あばよの夏
 冬
 末枯れ
 警策
 あの人
 逝きし夏(二) 特攻前夜
 ここへの道はなんじゃ思うてかの
 老い風

しまなみ俳句会 ◇ 109

吉野 太郎 ◇ 145
 信来 民夫 ◇ 148
 仲尾 修 ◇ 150
 高垣 憲正 ◇ 152
 木村大刀子 ◇ 154
 山口美沙子 ◇ 158
 島 匠介 ◇ 160
 幡地谷 領 ◇ 166
 黒田 歩兵 ◇ 172

§ 日本画・洋画・彫刻・工芸

§ 文化交流

第五回文学ルート川柳
 第八回しまなみ海道俳句大会

◇ 186 ◇ 183

§ 文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事

・ (コラム)

・ 広島文化賞受賞
 ・ 中表紙写真について
 ・ 表紙装画 第十一回絵のまち尾道四季展銀賞『木枯らしの頃』
 広島県 三原市
 ・ 表紙について
 ・ 題字
 ・ 装画・カット

三次ハヤ子 ◇ 185
 藤原 勝子 ◇ 185
 石田 克彦 ◇ 185



K. Ishida

尾道文化

第二十四号 くもくじ

巻頭言

尾道市文化協会会長

石田 克彦 ◆◆ 6

§ 日本画・洋画・工芸・彫刻

玉浦絵巻

入船 裕二 ◆◆ 14

§ 評論

玉蘊碑「美人舟遊図」のモデルは？

林芙美子と、考古学者・森本六爾

私の広島

文久元年の柳樽 葉師寺稲荷奉納川柳から

池田 明子 ◆◆ 29

清水 英子 ◆◆ 33

木村大刀子 ◆◆ 38

島谷 勲 ◆◆ 42

§ 随想

人間・林芙美子

青いケシの花とエーデルワイス

エベレストに登った菩薩

子どもにはしたいことがある — 「おじさんありがとう」の子どもたち —

いくさのかげで

文学の中の尾道(二)

アメリカンドリーム

拘農法(二)

ミランクラブ松山代表

奥川 睦 ◆◆ 48

吉田 繁 ◆◆ 53

平松 携 ◆◆ 58

青木 博 ◆◆ 63

池辺ケイコ ◆◆ 68

花本 圭司 ◆◆ 73

中村 英子 ◆◆ 79

小山 歩 ◆◆ 85

§ 文芸

・俳句

句会 瑠璃 ◆◆ 92

しまなみ俳句会 ◆◆ 100

・現代詩

カブトエビ

ミチシルベ

今朝も

告別(こだまくんへ)

峠の名

逝きし夏(三) — 潰えた海軍航空隊

きになってからに

・短歌

波動うず潮短歌会 ◆◆ 163

浦崎短歌会 ◆◆ 157

黒田 歩兵 ◆◆ 152

幡地谷 領 ◆◆ 147

島 匠介 ◆◆ 141

吉野 太郎 ◆◆ 138

仲尾 修 ◆◆ 136

山口美沙子 ◆◆ 134

久井 茂 ◆◆ 132

高垣 憲正 ◆◆ 129

§ 華道・写真・書・デザイン

§ 文化交流

第六回文学ルート川柳

第九回しまなみ海道俳句大会

◆◆ 187

◆◆ 190

§ 文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事

・コラム

・中表紙写真について

・表紙装画 第二回写真のまち尾道四季展銅賞「西國寺の大ワラジ」広島市

・表紙について 真田 正之 ◆◆ 37

・題字 藤原 勝子 ◆◆ 189

・装画・カット 上野 重治 ◆◆ 32



尾道文化

第二十五号 〽もくじ〽

巻頭言

尾道市文化協会会長 石田 克彦 ◆◆ 6

§華道・書・写真

◆◆ 7

§評論

蘆花を再起させた今治の温かさ ここは忘れぬ追憶の町
 蘆花・徳富健次郎
 林芙美子の香り立つ晩年の恋
 文久元年の柳樽(二) — 葉師堂稲荷社川柳大会から —

今治史談会会長

村上 正郎 ◆◆ 13
 清水 英子 ◆◆ 16
 島谷 勲 ◆◆ 21

§随想

日露戦争秘話と反戦詩歌
 はがき通信「尾道だより」(抄)
 蘭草づくりと備後表 — 浦崎の軌跡が語るのは —
 黄色のアツモリソウと橙色のサクラソウ
 内蒙古出身のトリゴル君
 もう一つの教育ドキュメント
 作家・吉村昭氏のこと
 もうひとつのミステリー
 拘農法(三)
 瀬戸田に於ける俳諧活動の幕明け

入船 裕二 ◆◆ 26
 後藤 良雄 ◆◆ 31
 岡本美代子 ◆◆ 36
 吉田 繁 ◆◆ 41
 平松 携 ◆◆ 47
 青木 博 ◆◆ 53
 池辺ケイコ ◆◆ 58
 中村 英子 ◆◆ 63
 小山 歩 ◆◆ 69
 根角 哲司 ◆◆ 74

§文芸

現代詩 砂
 風の手
 絶句
 その耳に
 量感なき種子

花本 圭司 ◆◆ 77
 木村大刀子 ◆◆ 82
 久井 茂 ◆◆ 84
 山口美沙子 ◆◆ 86
 仲尾 修 ◆◆ 88

・短歌

10月9日体育の日、世界郵便デーの朝
 ニハイチュウ

吉野 太郎 ◆◆ 90
 高垣 憲正 ◆◆ 92
 仲尾 修 ◆◆ 95
 波動うず潮短歌会 ◆◆ 96
 世紀短歌会 ◆◆ 105
 浦崎短歌会 ◆◆ 112
 瀬戸田俳句会 ◆◆ 117
 因島俳句研究会 ◆◆ 128
 句会 瑠璃 ◆◆ 134
 しまなみ俳句会 ◆◆ 140

小説 わらべがえり
 運動会
 海兵団

幡地谷 領 ◆◆ 166
 黒田 歩兵 ◆◆ 174
 島 匠介 ◆◆ 180

§日本画・洋画・工芸・彫刻

§文化交流

第七回文学ルート川柳
 §文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事
 ・ヘコラム

◆◆ 187
 ◆◆ 191

・中表紙写真について
 ・表紙装画 第十二回絵のまち尾道四季展銀賞『芙美子図』茨城県 磯山 秀夫
 ・表紙について
 ・題字
 ・装画・カット

藤原 勝子 ◆◆ 195
 石田 克彦 ◆◆ 15
 ◆◆ 186 62

